

川辺町夢プラン「あらたまプラン」

令和5年度

川辺町あらたまプラン



〈めざす子どもの姿〉

心身ともに健康で郷土を愛する人間性豊かな子ども
～わたしが好き 家族が好き 仲間が好き そして この町が好き～

〈今年度の重点〉

ふれあいがひろがる町「かわべ」をめざして
～あいさつ運動・読書推進・KMS9運動～

こども園

子どもは育ちながら「基本的生活習慣」を身に付けよう

- あいさつ指導の徹底
- 読み聞かせ活動の推進
- 絵本コーナーの整備
- 親子読書の推進
- KMS9運動の理解
- 川辺からたで「遊ぶ」

小学校

豊かな学力・豊かな心・健康な体を育てよう

- あいさつ指導の工夫
- 図書加教育の推進
- 読書活動を進めた地域への発信
- 地域が主体となったKMS9運動の推進
- 川辺からたで「遊ぶ」

中学校

- 習慣化を目指したあいさつ指導
- 読書活動の工夫
- 読書活動を進めた地域への発信
- 生徒が主体となったKMS9運動の推進
- 川辺からたで「遊ぶ」

保護者会・PTA活動

家族であいさつ

家族で読書

家族でKMS9運動

家庭では 親自身が手本を示すことで、子どもの生活の基礎を育てます

みつめ・かかわり・みがきあう の視点での援助

あいさつ運動への協力
- あいさつの日参加協力
- 日常からのあいさつ指導
- 大人も子ども「手がけあひまわす」

読書推進のための協力
- ボランティアによる読み聞かせ
- 読書推進の啓発
- ブックスタート事業

KMS9運動への協力
- 情報教育への連携
- 地域での見守り・見届け

地域では 主体的な成長を気長に見守り、心の通う活動を推進します

令和5年度

川辺町あらたま『DO』



〈めざす子どもの姿〉

心身ともに健康で郷土を愛する人間性豊かな子ども
～わたしが好き 家族が好き 仲間が好き そして この町が好き～

〈今年度の重点〉

ふれあいがひろがる町「かわべ」をめざして
～あいさつ運動・読書推進・KMS9運動～

こども園

〇確かな態度に「あいさつ」
「おはよう」「こんにちは」等、声を出して挨拶できるように指導し、挨拶の大切さを伝える。
〇読書活動の推進
「おはよう」の読み聞かせや、絵本の読み聞かせなど、読書の楽しさを伝える。
〇読書活動の推進
「おはよう」の読み聞かせや、絵本の読み聞かせなど、読書の楽しさを伝える。

小学校

〇確かな態度に「あいさつ」
「おはよう」「こんにちは」等、声を出して挨拶できるように指導し、挨拶の大切さを伝える。
〇読書活動の推進
「おはよう」の読み聞かせや、絵本の読み聞かせなど、読書の楽しさを伝える。
〇読書活動の推進
「おはよう」の読み聞かせや、絵本の読み聞かせなど、読書の楽しさを伝える。

中学校

〇確かな態度に「あいさつ」
「おはよう」「こんにちは」等、声を出して挨拶できるように指導し、挨拶の大切さを伝える。
〇読書活動の推進
「おはよう」の読み聞かせや、絵本の読み聞かせなど、読書の楽しさを伝える。
〇読書活動の推進
「おはよう」の読み聞かせや、絵本の読み聞かせなど、読書の楽しさを伝える。

保護者会・PTA活動

あいさつ

読書

KMS9

みつめ・かかわり・みがきあう の視点での援助

あいさつ 〇地域でのあいさつ
「おはよう」「こんにちは」等、声を出して挨拶できるように指導し、挨拶の大切さを伝える。

読書 〇地域での読書活動
「おはよう」の読み聞かせや、絵本の読み聞かせなど、読書の楽しさを伝える。

KMS9 〇地域でのKMS9運動
「おはよう」の読み聞かせや、絵本の読み聞かせなど、読書の楽しさを伝える。

地域のみなさん

1. はじめに

川辺町では、「掘り出したままみがいていない玉」という意味で、「あらたま」をキーワードとし、教育夢プラン「あらたまプラン」とし、めざす川辺像としています。願う人間像、願う家庭像を明らかにし、全町民が一体となって子どもの教育の推進をめざしています。

あらたまプランとは、「家庭」「地域」「園・学校」が手を携えて、かわべの「人づくり」「まちづくり」を推進するプランです。また、具体的な活動へとつなげていくために「プラン：計画」「DO：実行」を作成し、実践を進めているところです。コロナウィルス感染拡大に伴い、これまで行われてきた活動が制限された年が続きましたが、今後は、新たに子どもたちの成長につながる企画運営を進めています。



2. めざすこどもの姿

川辺町でのめざす子どもの姿

**心身ともに健康で、郷土を愛する人間性豊かな子ども
～わたしが好き 家族が好き 仲間が好き そして この町が好き～**

また、今年度の重点とし、「ふれあいがひろがる町“かわべ”をめざして」とし、地域・家庭と連携して活動できるように進めています。川辺町では、コミュニティスクールをより一層加速させ、子どもを中心に置き、学校・家庭・地域が協働して、町づくり・地域づくりを推進していけるよう考えています。その実践について紹介します。

3. 実践の紹介 「あらたまの日」小学校：12月2日（土）、中学校：11月28日（火）

(1)川辺西小学校「地域大活躍 人的資源の活用」

学年ごとに活動が決まっており、地域の方がそれぞれ講師となり進めていただきました。ものづくり活動では、クリスマスリースの飾りつけやじゅず玉作り、竹細工を行いました。また、防災や川辺の歴史についてくわしく話を聞いたり、川辺かるたなどのゲームやスポーツを楽しんだりする活動も行いました。地域の方がいきいきと子どもたちに携わる姿や保護者が自ら積極的に活動に参加する姿は、これまでのコミュニティスクールとして進めてこれた成果の一つでした。また、講師の先生との打ち合わせを各学年の担任が進めたことも、教職員がコミュニティスクールへの理解を深めるきっかけとなりました。



(2)川辺東小学校「地域、家庭が協働 ウィンターライブ」



1時間の授業参観が行われた後、体育館にて「キングダム ウィンターライブ」を行いました。この取組みは、川辺東小学校 PTA 研修委員会が主催しました。また、演奏会は、日頃より支援員として川辺町で子どもたちの指導に携わっている先生が主体となって進めました。フルート・クラリネット・トランペット・電子ピアノ等を用いて、様々な演奏が行われました。子どもたちと家庭、地域が一体となって楽しみ、充実した活動となりました。川辺町のめざす子どもの姿、郷土を愛する子どもたちに近づけることができた活動となりました。

(3)川辺北小学校「人どうしが協働することの大切さを知る 人権集会」

毎年、行われていた人権集会をこのあらたまの日で行いました。まずは、児童会において、子どもたちが人権意識を高めるための活動を堂々と全校の前で発表しました。子どもたちの活躍する姿を保護者や地域で見守りました。その後、子どもたちが企画した、「人権」「人つながり」に関わるレクリエーションを川辺町長や議員、一般の方、教職員も参加し一緒に行いました。普段、話したことがない人とも、子どもたちは積極的に関わり、夢中になって楽しんでいました。



4. 終わりに

川辺町では、「あらたまプラン推進協議会」を年2回行っている。園・学校関係者だけではなく、民生委員、社会教育委員、区長等、多くの地域の方々に参加して頂いています。子どもたちのためにできることを議論することを通して、今後もよりよい地域づくりを進めていきます。また、数年後に計画されている学校統合に向けても念頭に置きながら、地域・家庭・学校が一体となって、議論を進めていくことが必要となります。町全体が心身ともに健康であり続けるとともに、町民すべての理解と協力を求め、連携し続けることができるよう働きかけていきます。

川辺町の子どもたちが、地域の担い手の一人一人になっていけるよう今後も活動を進めてまいります。

